

## 地域振興会議で出された意見による地域課題まとめ

**【青谷地域の目指す将来像】**

## &lt;新市域振興ビジョン&gt;

だれもが住みつづけたいまち・住んでみたいいまち 青谷町

## &lt;青谷町版総合戦略&gt;

いつまでも暮らしたい、住んでみたい、歴史に彩られた活気とにぎわいにあふれるまち  
青谷町

⇒目指す将来像を実現するためのビジョン（方針）とプラン（施策）の検討

**【これまで整理された課題】※新市域振興ビジョン、町版総合戦略とも同じ。**

- ① 地場産業の育成
  - 農業・林業・漁業の振興
  - 商工業の振興
  - 観光の振興
- ② 青谷上寺地遺跡の利活用
- ③ 中山間地域対策
- ④ 青谷高等学校の存続
- ⑤ 地域福祉の充実

**【第3回地域振興会議で提案された課題】7/16 グループ討議**

&lt;グループA&gt;地域課題が大きく分けて3つ。

## ①人口がどんどん減っている

→産業が成り立たない、地域リーダーとなれるような人の育成ができていない  
人と人の交流が少ない、駅・商店・JRの活気がない、後継者不足

## ②町内の魅力が少ない

→地域資源が育たない。美しい自然の魅力等活かせていない

## ③高齢化がどんどん進んでいる

→共助交通や防災力の向上がなかなか進まない

## &lt;グループB&gt;抜粋

## ①人口減少、担い手不足になっている

- ・労働人口も不足している。
- ・まち協・公民館を一本化（人不足なので役がありすぎると回らなくなってきている）

## ②地域の魅力の減少。

- ・古き良きものが消えていく（灯籠流し、土曜夜市）。

- ・遊具のある公園が欲しい
- ③施設が有効に使われていない。
  - ・史跡公園について、建てたらゴールみたいなどころを感じる。その先はやっぱり地域の人で考えていかないといけない。
  - ・商工会館・ようこそ館も上手に活用して観光の拠点や、地元の人がもっと関わられるような場所にする。・使えそうな施設がうまく使えてないというのが課題
- <その他>
  - ・高齢者、住民が地域に関わる動機付けになるポイント制度の検討

### **【上記を踏まえた課題（案）】**

---

- ・伝統産業（因州和紙）の活性化
- ・地場産品のブランド化（定置網、びわ、しいたけ、いちご、けん玉）
- ・地場産品の販路拡大（ようこそ館、伝承館、気楽里）
- ・地場産業の担い手不足（人材育成、マッチング）
- ・地元企業との協働による活性化（駅南工業団地、CSR）
- ・青谷かみじち史跡公園への地域住民の参画
- ・地域資源（鳴り砂、不動滝、長尾鼻灯台、北前船等）を守り育てる活動の推進
- ・伝統文化の保護継承（民話、ようこそ音頭、夏泊の海女）
- ・観光誘客の受皿体制（民泊・キャンプ場などの宿泊環境、ガイド、インバウンド）
- ・観光PR（様々な情報発信、新商品等開発）
- ・青谷高校の活性化（魅力創造、受皿強化）
- ・地域の特色ある教育の支援（青谷上寺地遺跡、定置網、サーフィン）
- ・まちづくり協議会のあり方検討（地区活動の見直し）
- ・生活基盤の安定化（共助交通の推進、買い物支援）
- ・防災力の強化（自助共助の推進、防災備蓄、啓発）
- ・健康の推進（ウォーキングマップ作成、イベント開催）
- ・社会体育活動（卓球ほか）の支援
- ・高齢者、住民が元気に地域で活動したくなる動機付け
- ・駅前周辺の賑わい創出（青谷駅、にぎわい広場、など）
- ・青谷に住みたい人を増やす（移住定住支援、就業支援、空き家情報発信）
- ・地域同士の繋がりの強化、関係人口の増加（池田市 など）
- ・地域のにぎわい創出（イベント、地域人材の育成、遊具のある公園）
- ・空き家・空き施設の有効活用（商工会館、JR青谷駅 など）

## 青谷地域未来プランに掲げる地域課題のまとめ（案）

課題（柱となるもの）	課題（個別）	対応策
①地場産業の育成による活力ある産業の創出 （農林漁業・商工業・伝統産業）	・ 伝統産業（因州和紙）の活性化	
	・ 地場産品のブランド化（定置網、びわ、しいたけ、いちご、けん玉）	栽培方法の向上を指導し、量や品質を高める
	・ 地場産品の販路拡大（ようこそ館、伝承館、気楽里）	
	・ 地場産業の担い手不足（人材育成、マッチング）	新規生産者の支援を進める
	・ 地元企業との協働による活性化（駅南工業団地、CSR）	
②地域資源を活用した観光振興と市民協働 （青谷上寺地遺跡、青谷高校ほか）	・ 青谷かみじち史跡公園への地域住民の参画	
	・ 地域資源（鳴り砂、不動滝、長尾鼻灯台、北前船等）を守り育てる活動の推進	地域資源の磨き上げや活用する仕組み作り
	・ 伝統文化の保護継承（民話、ようこそ音頭、夏泊の海女）	
	・ 観光誘客の受皿体制（民泊・キャンプ場などの宿泊環境、ガイド、インバウンド）	
	・ 観光P R（様々な情報発信、新商品等開発）	
	・ 青谷高校の活性化（魅力創造、受皿強化）	地域留学の受入れを強化する
	・ 地域の特色ある教育の支援（青谷上寺地遺跡、定置網、サーフィン）	
③安心して暮らせる中山間地域づくり （まち協・防災・共助交通・買い物）	・ まちづくり協議会のあり方検討（地区活動の見直し）	人不足に対応する為、多すぎる役割を整理する
	・ 生活基盤の安定化（共助交通の推進、買い物支援）	
	・ 防災力の強化（自助共助の推進、防災備蓄、啓発）	
④地域福祉の充実による元気なまちづくり （健康増進・高齢者・子育て支援）	・ 健康の推進（ウォーキングマップ作成、イベント開催）	
	・ 社会体育活動（卓球ほか）の支援	
	・ 高齢者、住民が元気に地域で活動したくなる動機付け	住民の地域活動を推進するポイント制度の検討
⑤地域と連携した定住人口の増進 （移住定住、就業対策、空き家・土地活用、関係人口）	・ 駅前周辺の賑わい創出（青谷駅、にぎわい広場、など）	
	・ 青谷に住みたい人を増やす（移住定住支援、就業支援、空き家情報発信）	
	・ 地域同士の繋がりの強化、関係人口の増加（池田市 など）	
	・ 地域のにぎわい創出（イベント、地域人材の育成、遊具のある公園）	
	・ 空き家・空き施設の有効活用（商工会館、J R青谷駅 など）	施設の活用を地域で考える

赤文字・・・委員提言の課題、対応策

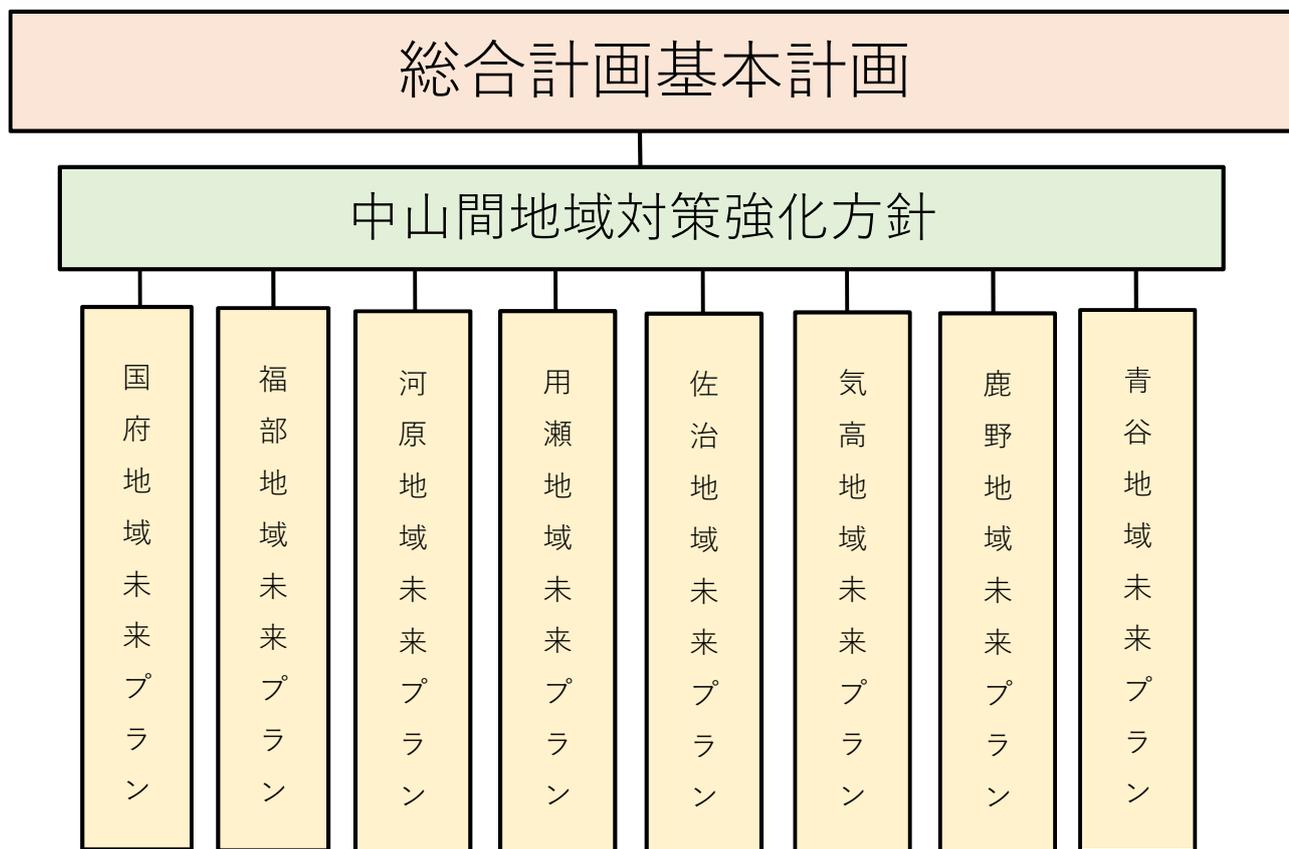
青文字・・・支所作成の課題





## 地域未来プランの目的位置づけについて

地域未来プランは、地域の現状（位置・地勢・人口の状況等）や、特性や地域資源を踏まえて、地域課題解決や地域活性化についてどのように取り組んでいくかを示すもので、計画期間は5カ年とします。



**※地域未来プラン実施計画に盛り込む事業は、地域振興事業（総合支所の権限と予算で施行するもの）とします。**

例：地域おこし協力隊事業、万葉フェスティバル開催事業費、鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費、あゆ祭り補助金、流しびな行事、芸術によるまちづくり、等

### <今後のスケジュール>

時期	内容
7月末～8月上旬	支所訪問（地域未来プランの進捗確認）
8月中	市長協議
9月6日（予定）	総務企画委員会報告（地域振興未来会議設置要綱策定）
10月～11月	地域振興会議で地域未来プラン（案）について協議
1月	地域振興会議で地域未来プラン（案）について承認
2月21日（予定）	総務企画委員会報告（地域振興未来会議委員選任、地域未来プラン策定）

## <今後のスケジュール（青谷町地域振興会議）>

### 【地域未来プラン】

時期	内容
8月	地域課題のまとめ
10月～11月	地域未来プラン（たたき台）の提示、協議 実施計画（案）について協議
1月	地域未来プラン（案）について承認
2月21日（予定）	地域未来プラン策定（本庁地域振興課）

### 【地域振興未来会議】

時期	内容
9月6日（予定）	設置要綱策定（本庁地域振興課）
10月～11月	委員構成の協議（どの分野から選出するか） 候補者の推薦
12月～1月	委員候補者へ委嘱依頼 公募委員の募集
1月又は2月	地域振興未来会議委員の報告